

天領

第 12 号

1986年12月



大田 瀬摩法人会会報

目次

大田邇摩法人会創立三十周年記念経済講演会	1
《座談会》直木賞作家 難波利三先生帰郷	4
昭和六十一年度納税功労者表彰並びに 納税貯蓄組合法施行三十五周年記念感謝状贈呈式	7
税を知る週間/意見交換会	8
石見大田税務署人事移動	9
税のこぼれ話	9
囲碁問題集	9
広島国税局長と中国地方法人会連合会長との対談	10
通常総会「新役員決る」	12
新春経済講演会のお知らせ	12
企業訪問「中村ブレイス株式会社」	13
質問手帳	15
忘れていませんか源泉所得税の納付を	15
ふるさとの散歩路「史跡の里 石見銀山」	16
非違事例	18
ミニ税務コーナー	18
天領の秘話「石見銀山風流譚」	19
ストレッチ体操で積極的な疲労回復を	21
囲碁問題解答	21
編集後記	21

和江漁協魚市場

大田市静間町和江といえば、同町新田の前原源三郎の足跡が思い出される。昔の和江は、静間川が河口付近で、和江の背後を流れ、旧鳥井中学校付近で日本海へ出ていた。つまり静間川によって鳥井から切り離され、和江は島となっていた。

たびたびの水害にたまりかね、元禄10年（1697）決死の覚悟で、前原源三郎は水路のつけ替えの難工事をやりとげ、今の和江が出来た。

和江漁協（月森元市組合長）の年間水揚げは、昨年の場合、2,420トンと、大田市内の漁協ではトップ。和江漁協は底物を中心とする小型底引き船20数隻をもち、いわば立地条件に合った漁法で実績をあげているといえようか。

年末から新春にかけて魚市場をにぎわせるのはカレイ、ヒラメ、タイ、甘ダイ。夕方6時ごろから開く、漁村センター魚市場の、せりに集まる人々の表情は、1日中で1番活気があふれている。

市内で水揚げナンバーワンの和江漁協の活力は、地域の先人、前原源三郎の進取の気性の投影だろうか。

（石村楨久記）

大田邇摩法人会創立30周年記念経済講演会

演題 「今後の日本経済の動行」

講師 加藤 寛 先生



略歴
現職 慶応義塾大学教授
役職 日本計画行政学専務理事
厚生省 社会保険審議会委員
経企庁 物価安定政策委員会委員
総理府 国鉄再建監理委員会委員
環境庁 中央公害対策審議会委員
主著 「国鉄・電々・専売、再生の構図」
「現代ソ連経済の構造」「官業改革論」
「日本の経営は崩壊するか？」

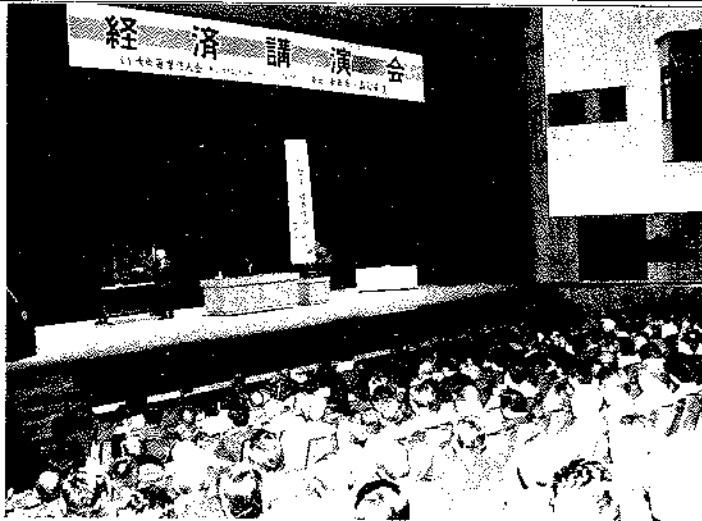
十月十一日大田市民会館
大ホールに於いて、大田邇摩法人会創立三十周年行事の一環として、昨年加藤寛先生の経済講演会を計画した所、多忙のため今度、開催することが出来ませんでした。今の日本経済は円高、行政改革、貿易の自由化等、多くの難問を抱えています。この難問処理に、重要な役割を果たしておられる先生に、詳しく話していただき、入場者九百余名もあり熱心に聴講されました。

日本経済の発展の流れ
日本経済の発展を、大きく分けて、農業を中心とした時代、工業を中心とした時代、今後の新しい時代、であり、このそれぞれ時代の時代について説明します。

農業時代
農業を中心とした時代といふのは、土地に制約されている社会でありますから、土地の広さにより生産量が決まりますから、ある段階が来ますと、それ以上経済が発展することが出来なくなり、たゞ江戸時代は四千万人が生活するのがやっとなり、人口増加を抑制しなければならぬ時代でした。この時代に於いても、当地方は石見銀山として、有名な産地でもあり、恵まれた所であつたかもしれせん。しかし全体としては農業中心では経済の発展は頭打ちになります。より多くの人々が生活が出来、衣食住がより豊かになるには、社会的に大きな転換が必要であります。土地に縛られていた生産を機械を使うことにより、一層高い生産に移していくことが出来るのであり、大きな革命である、明治維新になり、工業化時代に入るのであります。

工業化時代
工業化時代の発展には、最初はエネルギーの増大があります。このエネルギーには、まず石炭の開発がありました。次に水力、石油を開発し、このエネルギーを背景にして、重厚長大と云われる鉄鋼業、化学産業が発展し、これを基に日本は三C時代を出現することが出来ました。三C時代とはカラーテレビ、クーラー、自動車を持つことであり、今は一億二千万人が住むことが出来、福祉政策を充実させていくことが出来るのであります。この三C時代が頭打ちになつた頃が、昭和四十五、四十六年であり、この時期はある意味で、日本の経済成長は充分に達成されていきました。今迄は資源をほとんど輸入し、貧しかった日本は工業製品の輸出で、貿易の黒字を達成することが出来、日本経済が発展していくための基礎を固めることに成功したのであります。

明治維新より始まつた工



業化は世界に肩を並べるところまで来ましたと宣言したのが、大阪万博なのであります。しかし経済の高度成長は、公害を広める事になりました。この時期から、またもう一つの転換が必要になって来ました。

せになれない。この物量を基礎に、もっと豊かな生活、多様化された生活、質に於いて優れた生活、このような生活を私達は今、求めていることが解つて来ました。物、を中心にした時代から、今や、物、以上のものを私達はもうすれば達成することが出来るか、という事を考えなければならぬ事になりました。

という三つの波であると思つた。最近では堺屋太一氏が「知化社会」と名付けてもおられます。

新しい時代

この新しい時代への転換が、大阪万博を期にすべきであったが、その対策がされず、昭和四十八年の石油ショックに入り、初めて痛感したのであります。

この新しい社会への転換を、ダニエル・ベル氏は「脱工業化社会」と呼んでいます。つまり工業を抜ける社会という意味です。又、トフラー氏は「第三の波」と名付けました。これは農業時代、工業時代、今から新しい時代、

これに気付いた産業界は次から次へと改善を進めて来ました。石油ショックにより、日本は省エネを徹底し、電力では三十三パーセントが原子力発電になり、又自動車に於いてはコンピューターの制御によりガソリンの無駄をなくしました。こうして日本はほとんどの石油の輸入国であるにも関わらず、その石油依存を少なくする事が出来ました。これが日本経済の一つの変化でもあったのです。

そして日本は省エネ、公害問題を解決することにより、技術が進歩し、日本製品

の輸出が伸び、貿易の黒字が増大して来たのであります。

急激な円高の原因

昨年より急激な円高、ドル安の原因はアメリカのレーガン大統領の登場から、ドルの実力が無いのにドルが強い、アメリカの経済は強い、と世界中に示していた。日本の方は経済力が強いのに、弱いと思つていた。その結果、アメリカの輸出が減少し、輸入の増加で赤字を出し、今や世界中で最大の借金国に転落したのであります。

反面日本の場合には貿易黒字が世界最大の国になっているのであります。そこでアメリカは輸出を増加させるために、昨年五ヶ国蔵相会議により、ドル安、円高政策に変更したのであります。しかし昨年からの現在迄、アメリカへの輸出はあまり減少していません。今から三ヶ月、遅くとも六ヶ月以内には減少していくでしょう。

一方韓国、台湾は対ドルのレートの変化がありません。

んから、日本の輸出減少に換つて、輸出を伸ばしている為、アメリカの貿易赤字は減少しないのであります。そこでこれ以上円高にしてもその効果が少ない事を知り、日本に対し輸出を減らす様、要求して来ました。しかし各国の輸出依存度はGNPに対して

日本 一四％
アメリカ 六％
西ドイツ 二七％
イギリス 二二％
又一人当りの輸出金額は日本 一四一八ドル
アメリカ 九一二ドル
西ドイツ 二六八四ドル
イギリス 一六九八ドル
となり、輸出依存度、金額に於いても多過ぎる事はありません。日本はほとんどの資源を輸入している以上、円高になつても、なんとか輸出をしていかなければならないのであります。

日本の市場開放

歴史的に考えてみますと、イギリスの産業革命によ

り世界最大の催権国になった時代には貿易黒字がGNPに対して、三・七％に達しており、市場開放をしております。その後アメリカが、一九二〇年代以降、黒字が、三・七％になり貿易の自由化を実施し近年まで世界経済に貢献したのであります。

今、日本の貿易黒字は、三・六％になり、大きな転換期に入っているのであります。もしこれから、脱工業化社会、知化社会へ向うとするならば、これこそ日本の新しい時代であり、名実共に世界一の国になるでしょう。その為には今、市場開放をし、自由化を断固として実施しなければならぬ立場になっているのであります。ですから早く産業構造の転換、政策の変更をすべきであります。

石炭産業について
日本の石炭消費量は全エネルギーの、一七％であります。この内、国内産は、

三％であり、国内で生産する必要がないのであります。といえますのは、外国では露天掘りで簡単に安く生産できるが、日本のは深い坑道を掘り危険な場所でも無理な生産をするため、事故が多く、価格も外国産より、トン当り一万円高い値段で販売されています。その為

製鉄会社は高い国内炭の引取を拒否しているのであります。一方政府は石炭産業を保護する為の補助金を、年間一二〇〇億円出しているのであります。これを石炭従事者一万七千人で割ると一人当り月六〇万円に相当します。この様な大きな無駄は廃止すべきであり、労働者は他の産業へ転換すべきであります。

国鉄民営化について
国鉄は昭和二十四年に公社になりました。しかし発足した国鉄自身に人事権、財政権、経営方針を決める事も自由に出来ない機構で

あった。総裁、副総裁はそれぞれ、総理大臣、運輸大臣の指名、財政権は大蔵省の管理、経営方針は国会の決議等、国鉄自身で自由に時代に合った経営が出来なかつた。この事は昭和二十六年すでに小林一三氏はじめ多くの人の指通があり、早く民営化すべきであった。しかし国鉄の基本的改革はされず、昭和二十九年に赤字に転落し、大きな累積債務を残してしまいました。

これは輸送事業での時代の流れが、長距離は飛行機、近距離はバス、自動車と変化し、国鉄の役目である中距離輸送に対応できなくなりなりました。その為、中距離中心の分割民営化が必要になつたのであります。時代の要請に応じた最大の努力をして後、赤字が出る場合であれば、財政の応援は、国民に充分に理解されるのであって、今迄の状態では納得しないのであります。

農業問題について
農産物で最大の問題は米であります。稲は狭い日本国土で作れる唯一の農産物であると思つていきますから、米を自由化して良いと考えていません。しかし今年米価は少なくとも六・六％安くなるべき時に据置きになつた事は間違ございません。農家は出来るだけ大規模化し、生産性を向上し、価格を半値にするのも不可能ではないのです。この様な努力をすれば政府が援助しても良いのであります。

日本の国際化
国際社会で日本が発展して行く道は行政改革であり、今迄に通信事業として独占していた電々公社は民営化され、NTTとしてスタートしました。航空業界の自由化、金融の自由化、国鉄の民営化等、次々に改革が進められています。今、世界中で進められている改革は物を作る産業で

なく、すべてネットワークの産業なのであります。この産業こそがこれから新しい社会を造る知化社会の中心であります。ネットワークの改革こそ世界の新しい時代に適応していく大きな時代の流れなのです。当大田市には優れた歴史と、素晴らしい自然があり、これを使いながら、ネットワーキを利用する事により、より大きく発展していくことは充分可能であります。私達は自分の郷土を愛し、郷土に対する愛から、新しい時代への道が開かれるのであります。

今回の講演は日本経済の大きな転換期の中で進められている改革、方向を解りやすく説明され、今後の指針に役立つと思つています。
開催に当り大田市、山陰放送には後援を、法人会役員諸氏には多大な協力を得て円滑に運営され、盛大に終了いたしました。

座談会

ふるさとへのアドバイス

直木賞作家

難波利三先生帰郷

十一月二十日(木) 大田遡摩法人会広報委員長は、関西テレビの取材で帰郷中の難波利三先生を温泉津町の宿泊先に訪ね、「ふるさとへのアドバイス」を頂くため、座談会をお願い致したところ取材中お忙しい中にもかかわらず、先生には大変快くお引き受け頂きました。

以下当日の対談内容の骨子のみを記載いたします。

観光客の減少

【和田】本日は難波先生には大変お忙しいところ有り難うございました。

法人会は先生もよく御承知のとおり税知識の普及と経営の研究を目的として、

おりましてお手元にございます余報を年二回発行致しております。この会報のページに載っていますように「ふるさとへのアドバイス」と題します、シリーズを組んでおりまして、今回が三回目でございますので



宜しくお願い致します。
【難波】昨日、車で大田市から三瓶を回って、志学温泉と撮って来たんですが、

明日、また大田を撮って帰る予定にしております。

大田もうんと観光客が減

っていると言うんですね。

【森吉】減っていますね。

【難波】三瓶山の浮布の池の辺りも、今日行っただけ

すがテント村がもう閉鎖されるんじゃないかと言うことだそうです。大田も観光客が減ると町もうんと影響するんですね。

【森吉】大変こたえましてねえ、まあ一生懸命観光開発に力を入れておりますがなかなか交通事情や経済的事情等どうも宿泊客が少

ないようですね……。

【難波】通り過ぎるだけなんですかね。

【森吉】ただ雪がありますとスキーの関係なんか良いようでも北九州、広島方面からお出掛けいただいでおり

ます。大森の方も少しずつ増えております。温泉津の事情も今日ご覧頂いたと思

【難波】温泉津もやっぱり観光的にはちよつとしんどいでしようかね。

大田の場合は石見神楽と言うのを全面に押し出されて二十三日ですか石見神楽の大会があるようですね。

【森吉】産業フェアと言



うことでアトラクションで市内六社中の競演と新たに天領太鼓も参加します。

心を見せる 心を見る

【難波】昨日、志学の神楽を見させて貰ったんですが、あそこは元々の形を残すよ

しているんですね。

私なんかたとえば大阪でたまにショーのように見せて貰う石見神楽はちよつと派手すぎて、きれいですがちよつと心が薄らいでいるような気がするんです。

その点、昨日見せて貰った志学の神楽なんかはほんとに昔のままで、嬉しい気がしますね。

古いものを変に新しく観光客に迎合するような形でやると逆に観光客を逃がすんじゃないかと言う心配もあるんですがね。

【和田】私も先生のおっし



やるのはよく分かるんですね、余りにもショー化されると本来のものが伝わらないで廃れていきますね。

【難波】なんでもお客さん

座談会

すがね。そう言う観光の方法というのはもう時代遅れじゃあないかと言う気がしますがね。これからは「心を見せる」と言うか「心を売る」と言うような感じの観光が必要じゃあないかと言う気がしますね。

【和田】誠に先生のおっしゃる「ふるさとへのアドバイス」を拝聴いたしました。おっしゃるとおりだと思います。

石東の広域観光連合

【難波】只、今も仁摩、大田、温泉津と回って来たんですが、各観光課の方が、ものすごく努力されていて一生懸命やっておられるのが痛いほどよくわかるんですが、只、それが温泉津、仁摩、大田とそれぞれが単発に個々に行われている気がしてたとえば観光という面で三つが集まって連合で知恵をだしあつて何か出来るといんですけどね。

行政の面でむずかしいん

でしようね。

【森吉】ええ、今、広域行政と言うことで石東三郡の広域市町村圏ということで産業、文化、観光等の面で話し合いを進めているんですがね。

【和田】邑智郡と大田市と邇摩郡で石東三郡と言って先程専務がおっしゃった経済、文化等について交流をやっています。運まきながら少しずつそう言う雰囲気になつてはいるんですが。

【松井】やっぱり観光と言うのは点、点でなくて、そ



の点を線で結んだものではないといけないですね。

さつき先生が言われた石東地域がどうしてそれを結んでPRを一語にして観光客を呼ぶかと言うことですね。

【難波】そうですね。私なんか大阪にいますと、この

季節になりますと大田からや、また仁摩からも温泉津からも観光宣伝や催しもの案内、観光物産の宣伝にこられるんですね。

これらをまとめて、一緒にやると大きなものが出来るんじゃないですかね。

結局、大きな産業が来ない限り当面観光じゃあないかと思えますね。温泉津は正直いって今から産業と言う訳にはいかないでしょうし、仁摩はまだスペースがあるでしょうが大田も一杯な感じがするんですが。

【小林】温泉津の場合リゾートゾーンを造り、そこにホテル、プール等その他の施設を完備し、家族連れやお年寄りの団体客にどんな来て頂けるようなそんな施設の整備、町づくりが必要だと思えますね。

【難波】そうですね。それから、PRが不足なんですかね。京阪神からの客が出張までは来んですがこっちまで回って来ない。向うへ行く人は萩と津和野は来

るんだけどまたこっちへ登って来ない、でこの真中が空白みたいになるんですね。



【小林】おっしゃるように津和野は萩を中心にロータリー現象にあり、又出雲は大社を中心とし日の御碕、玉造とロータリー現象が出て来ているんですね。温泉津も石見銀山を中心としたロータリーづくりをする必要があります。そして大いにPRをしなければいけませんね。

【難波】そうですね。これは先程私が言ったことと反するんですが佐渡の金山に行きますと抗道の中に当時の恰好した人形がいて電動式で掘っている動作をさせたり言葉を喋らせたりして観光客に見せているんですね。石見銀山も佐渡に負けないくらい知名度があるんだからあのまま眠らせて

おくのは勿体ない気がするんですね。現代の銀を稼ぐ為にはもう少し観光的にした方が良いと思えますね。

【松井】今、先生が佐渡の金山の話をしてされましたがちょうど同じことを前回の座談会の時、岩崎電気の岩崎社長がおっしゃっていました。あの金山がいつまでも金山として売れているのは、やはり後世が努力しているのだと、そう言う点で大森銀山は何もしていないではないかと、只、間歩がある穴があるでは駄目だともっと今からでも遅くないから銀を掘りなさいと銀はまだあるよと言っておられました。

【難波】そうですね。あのまま眠らせておくのはほんとは欲しい気がしますね。



【大谷】先生、とかく観光をどうしてPRするかと言

座談会



う話しの時、出るのが大河ドラマのシナリオを書く人がおれば一発でいけると言う話しになるんですが、又永い目で色々と研究されて書いて頂ければと思うんですが。

【難波】思っているんですがね。これは二年前から大田市から言われているんですけど構想を練っているんですが五年以内と言うことで、後三年しか無いのでなんとか思っているんですが、大森をひつくるめた何か自分流のもので、時代物でな

くても現代のものの中で過去にこんな歴史があったと言うものはめながらいくことも出来るかなあと思っているんですが。

それと、NHKの銀河テレビ小説のものを一ヶ年やっているんですが、これは残念ながら大阪の方の話なんですけど、放映は来年の五月ごろと聞いています。まだ確定していませんけどね。そう言う形でこの大森あたりの仁摩、温泉津を含めた話しが出来ればいいと思うんですがね。

【和田】是非ひとつお願い致します。

観光ルートの設定

【難波】空港が益田に出来ると言うことですが、あまり関係ないんですかね。

【森吉】ええ、あまり関係ないですね。出雲空港はだいぶ大田は利用させて頂

いておりますが、なかなか観光客までこんですわ。

【松井】目玉が無いですからね。

【難波】海水浴と言うのはどうですかね。

【森吉】海水浴客はそれでも浜田から石東海岸までは広島方面からだいぶきまですが日帰りが多いです。

【和田】やはり日帰りが多いと言うのも観光ルートの設定が無いと言うように諸々のものが欠けていますよ。

【大谷】その点、温泉津は釣り客が多くて、宿泊客がかなりあるよう。

【小林】ええ、それはそうなんです。これもシーズンの間だけです。年間通じてあればいいんですが。

【森吉】それと、二、三年前に浅原才市さんの法要があった時は大変な人だったようですね。

【和田】ええ、大変な人が来られました。宿泊客が温泉津だけでは収容出来ずに江津や大田のほうに分宿

して頂きました。

人づくりで過疎化防止

【松井】話しは観光で温泉津にはいつているんですが、大田にしても仁摩、温泉津にしても、石東地域全体に言えることは、農業、漁業、林業を含めた一次産業が中心で素材な面もある交わりに、発展性もないんですが、大企業も来ない所で今後どのように打破していけばよろしいんでしょうか。話しにはよく大学を誘致したらと言うようなことがでるんですが。

【難波】そうですね、私も産業が来なければ人づくりだと思えますね、人づくりと言っても地元は人口が過疎だからどうしようもないから、本当は短期大学か大学を持って来てそのかわり、うんとその学生達を優遇するような環境づくりをしないと来てくれないでしょうし

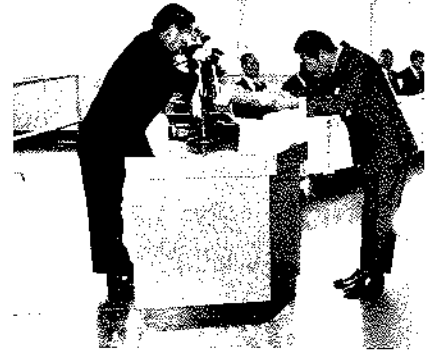
ね。

奈良のある村では大阪のほうの子供達を留学させる、預かると言うかたちなんです。小学生達を何十人か預かって、各農家の空き屋があれば家族ぐるみでお貸ししましょう、なければ子供の手の放れたお年寄りのところへ預けるんですね。で、卒業するまでその家が里親のようなかたちで預かるんですね、そんなかたちで人口を増やしていますね。それで小学校の生徒が二分の一ぐらい増えたと言うんですね。それについて親もやって来る、日曜日には親が大阪から遊びに来る、そのうち環境がいいからと言って住み着いた親もいるんです。少々遠くても大阪まで親も通動しているんですね。今のような短期大学とか人数の増える学校とかが出来れば案外人口は増えるんですがね。

【和田】先生、時間もそろそろまいったようですので終了させて頂きたいと思っております。今日は大変お疲れのところ有り難うございました。

昭和61年度

納税功勞者表彰並びに納税貯蓄組合法 施行35周年記念感謝状贈呈式



去る十一月十一日、昭和六十一年度納税功勞者表彰、納税貯蓄組合法施行三十五周年記念感謝状贈呈の式典が盛大かつ厳粛に開催された。

当日は、島根県出雲総務事務所長、大田市長、温泉津町長、仁万町長はじめ関係団体長五十数名の出席のもとに藤原総務課長の司会で川増税務署長より各氏に表彰状、感謝状が贈呈された。晴れの受彰者は多年に亘り申告納税制度の普及と納税協力団体の育成発展に努められ、納税道義の高揚に貢献された方々です。

◎広島国税局長感謝状

大田市大田町

伊藤 章 雄殿



◎納税功勞者税務署長表彰
大田市大田町

佐々木 富 男殿



瀬摩郡温泉津町

若 林 謙太郎殿



◎納税功勞者税務署長感謝状

大田市久手町

西 村 禎 二殿



大田市三瓶町志字

松 原 功 殿



三瓶 功 殿
副会長 申 啓 会
副会長 申 啓 会
大田 功 殿
副会長 申 啓 会

大田市大田町
杉 谷 富美江殿
地区会 連合会
区 長 副 長
大田 功 殿
副会長 申 啓 会

大田市久手町刺鹿
西 山 眞 治殿
地区会 連合会
区 長 副 長
大田 功 殿
副会長 申 啓 会

◎納税貯蓄組合法施行三十
五周年記念署長感謝状

大田瀬摩地区納税貯蓄組
合 連合会

大森町商工振興納税貯蓄組
合 (会長 伊藤章雄)

久手町商工振興納税貯蓄組
合 (会長 松場夏夫)

静間町商工振興納税貯蓄組
合 (会長 松井義夫)

個人 (会長 石田弘行)
曾 田 三 義殿
(久利町商工振興納税貯蓄

組合長)
芝 尾 金 男殿
(水上町商工振興納税貯蓄
組合長)
柿 田 直三郎殿
(五十猛町商工振興納税貯
蓄組合長)
またさる七月二十八日広

島国税局長感謝状を受けら
れた伊藤章雄納貯連会長の
受彰披露があり、続いて全
国納税貯蓄組合法施行三十
五周年を記念して受彰され
た方々への伝達も同時に行
われた。

◎全国納税貯蓄組合連合会
会長感謝状

伊藤章雄殿 松井義夫殿
天崎正一殿 石田弘行殿
竹腰和夫殿 福井 登殿
松場夏夫殿 森吉喜八郎殿

◎中国納税貯蓄組合連合会
会長感謝状

小川 徹殿 杉谷富美江殿
「税に関する作品コンク
ール」感謝状
大田市立第三中学校殿
大田市立志学中学校殿
大田市立大代中学校殿
心からお祝申し上げます。

税を知る週間行事

自11月11日～至11月17日

第九回各地区意見交換会より

今年も「この社会、あなたの税がいきている」をメインテーマに税を知る週間が始まり各団体でいろいろな行事が行なわれました。

当法人会も管内三地区にて意見交換会が開催され、税にはどんな性格のもの、どんな種類のものがあるかと改めて勉強させられました。

各地区とも、終始和やかな雰囲気の中で、活発な意見や質問また要望事項等も出されるなど税に対する日頃の関心度の高さが伺われました。

東部地区

出席者 27名

開催日時 11月10日 午後2時

開催場所 波根町 水明館

税務署関係出席者 川増署長 藤原総務課長
林谷統括官 朝日調査官

出席税理士 渡辺先生 田中先生

税を知る週間行事のトップを切って東部地区の意見交換会が開催されました。

前年に引き続き松井義夫氏の司会により始まったが席上、今年度大型倒産等があり貸倒れ処理等についての質問を皮切りに次々と活発な質問や意見が出るなど大変熱のこもった内容であり予定時間を延長して閉会した。



西部地区

出席者 24名

開催日時 11月12日 午後2時

開催場所 仁摩町 小鉄屋旅館

税務署関係出席者 川増署長 藤原総務課長
林谷統括官 朝日調査官

出席税理士 千賀先生 竹下先生

今回は、場所を仁摩町に会場を移して開催され、又、今年度初めて役員になられた小川良知氏が司会役となって開催された。西部地区においても、東部地区にまけない、大変熱心に質問や意見が出る等、終始和やかな内にも大変有意義な交換会であった。

大田地区

出席者 30名

開催日時 11月14日 午後2時

開催場所 大田町 会館 仁 万 屋

税務署関係出席者 川増署長 藤原総務課長
林谷統括官 朝日調査官

出席税理士 中田先生 中島先生 三谷先生

三地区の最後として、会員30名の出席を得て、月森重孝氏の司会のもとに開催され、天崎会長の税を知る勉強の場としてありのままに質問し、意見の交換をしてほしいとの挨拶があり、意見交換会に入っていた。

冒頭から専門的な「自社株の取得価格について」とか、あるいは「役員の保険金受領について」等々、最後を飾るにふさわしい活発な意見が出るなど近年にない盛り上がりであった。

なお三地区とも ①税制改正の説明 ②大型保障制度の説明 ③スライド上映「税務調査の上手な受け方」等の勉強会も同時に行った。



石見大田税務署人事異動

ごあいさつ



総務課長
藤原 喜義

本年七月の異動で、石見大田税務署総務課長を拝命いたしました藤原でございます。

着任以来、すでに半年、一部会員の皆様方には、税を知る週間行事等を通じ、お目にかかっておりますが、「天領第十二号」の誌上をお借りして、全会員の皆様方にごあいさつを申し上げる機会を得ましたことを、大変嬉しく思っております。

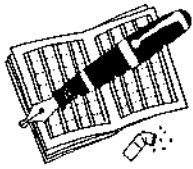
大田遯摩法人会におかれましては、会員の増強を始めとして積極的な事業活動を推進され、更に婦人部会を結成されるなど魅力ある法人会づくりに奮実な実績を挙げられたことに對し心

から敬意を表します。

また、税務の運営につきましては、平素から格別のご理解とご協力をいただいておりますことを厚くお礼申し上げますとともに、更に今後一層の会員の拡充と事業活動の活発化に期待を寄せております。

私どもとしましては、あらゆる面で引続き積極的にご支援を申し上げる所存でございます。

終りに、会員の皆様方には年末を控えご多忙のことと存じますが、益々ご健勝でご活躍され良いお年を迎えられますことをお祈りいたしまして新任のごあいさつといたします。



税のこぼれ話し

◇血相を変えたオカミさんが、子供をかかえて医者に飛び込んで来た。

わけを聞くと、子供がノドに小銭をつまらせたという。医者は落着き払って言った。

「税務署に行きなさい。ゼニを取るのには、あちらが専門だ」 (西独の小話)

◇乾上がった砂漠の中の町で。

早朝、レストランで食事しようとした人が、出されたレモンをしぼろうとすると、どうしても汁が出ない。乾燥のためだ。すると、近くで食事をしていた紳士が近づき「私がしぼりましょう」といった。

不思議なことに、紳士がしぼるとタラタラと汁がでた。驚いて「あなたはだれですか」と聞くと、紳士は静かに言った。

「私は、税務職員です」
(イランの小話)

大石内蔵助と大蔵省

◇「忠臣蔵」の立役者といえば、なんといっても大石内蔵助ですが、この人の名は、息子の主税(ちから)ともども今日の大蔵省と関係があります。

内蔵は古代、うちくらと言ひ、斎蔵(いみくら)、大蔵(おおくら)と並んで大和朝廷の神物、官物を納める蔵でした。

その後、令制で大蔵は省となり、内蔵は中務省の、主計、主税は民部省の下部機関の寮に。これにより内蔵寮は、官中用の財宝、金銀、貢献物や天皇、皇后の装束を納める倉庫となりました。今日、内蔵の名はなくなりましたが、大蔵と主計、主税の名は残されています。

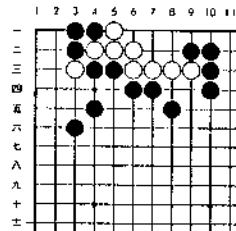


囲碁問題集

【出題】

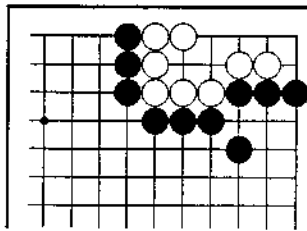
黒先で白を殺して下さい。

三手目に妙手あり。10分で有段



【出題】

黒先で白を殺して下さい。



中国地方法人会連合会長との対談



篠原康次郎氏

【出席者】

広島国税局長
宮島 壮太 氏
中国地方法人会連合会
会長 篠原康次郎 氏

税を知る週間

司会 本日ももちまして「税を知る週間」が終るわけですが、はじめに局長からこの週間の状況等につきましてお話しいただきたいと思えます。

局長 例年のとおり、国税庁をはじめ国税局、税務署

では、十一月十一日からの一週間を「税を知る週間」として、様々な行事を実施してまいりました。

この週間では、国民の皆様方に「税」というもの自身近なものとして考えていただくとともに、税に対する正しい理解と認識を持つていただくために「この社会あなたの税が生きている」をメインテーマとして、各種の催しやテレビ、ラジオ、新聞等を通じて税の仕組みや使い道などの周知に努めてまいりました。

しかし、この週間を通してだけではなく、平素から国民の皆様方に税に対する関心と理解を持っていただきたいというのが私どもの願いでございます。

局長がお話しされたように、税の仕組みや使い道を正しく理解することは非常に大事なことでと思います。

私ども法人会も申告納税

制度の定着を目指し、会員の税知識の普及を通じて納税道義の高揚を図るための事業活動を行っておりますが、この週間に催された行事等を契機に、より一層充実した活動を進めてまいりたいと思っております。

法人会活動

司会 次に、会長から法人会の現状についてお話しをいただきます。

会長 それではまず法人会の組織と活動状況について申し上げます。

法人会は、全国組織として全国法人会総連合、各国税局単位の地方法人会連合会、各県単位の県法人会連合会、それに活動の一番基礎となる各地区単位法人会から成り立っております。全法連の昭和六十一年六月末現在の会員数は約九十六万社となり、全国の法人数の六十二パーセント近く

を占めるという大変大きな組織となっております。また、中法連は昭和五十年に中国五県の県法連で組織され、中法連傘下には百五の単位会があり、会員数は五万七千余社、加入割合で申しますと五十四パーセントとなっております。

次に、法人会の活動状況でございますが、現在、中法連では二つの重点目標を掲げて活動しております。第一には「申告納税制度の確立」、第二には「相互信頼に立った円滑な税務行政への寄与」、第三には「企業経営の健全な発展」であります。このため、各地区の単位法人会を主体として税務署、税理士会支部、商工会等と密接な連携を保ちながら、会員増強運動、税務・経営に関する講習会・講演会の開催、税務当局との連絡協議会等の活動を積極的に推進しております。

また、県法連では単位会

● 対 談

広島国税局長と



宮島 壮 太氏

税務行政 四つの柱

の事業活動を指導するとともに、昭和五十五年からモデル法人会事業を行っております。これは、各県法連がモデルとなる法人会を指定し、指定された法人会は目標を定めた事業活動の研究・実践を行い、その成果をモデル法人会研究発表会で発表し、他の法人会の事業活動の範となることで法人会全体のレベルアップを図る制度です。本年度は、三原、岩国、雲南法人会を指定しております。

局長 ただ今会長から法人会の活動状況等について伺いし、大変心強く感じっております。

御承知のとおり、我が国の財政は歳入の相当部分の公債に依存せざるを得ないという大変厳しい状況にあり、行財政改革が国民的課題として強く推し進められております。

このような状況にあつて、

税の制度、執行の在り方に対する国民の関心はますます高くなつており、税負担の公平確保に対する国民の要請が一段と強まっております。私も税に携わる者として、これらへの要請にこたえるために課税の適正かつ公平な執行に全力を傾注しているところでございますが、もとより申告納税制度の下で課税の公平を図ることは、一人税務当局の努力だけでなし得るものではありません。

申すまでもなく、申告納税制度は国民自らが作った法律というルールに従い、適正な申告と納税を行うことにより税負担の公平を実現することであり、私どもといたしましては、従来から広報、相談、指導、調査を税務行政の四つの柱といつたしまして納税環境の整備を図つてきているところでございますが、今後とも納税は市民社会のルールであるという点について、国民各層の御理解をいた

くために、法人会をはじめとする関係諸団体の御協力を賜りたいと願っております。

財政基盤の 確立と社団化

司会 法人会の今後の方針と要望につきまして会長からお話し願います。

会長 第一には、財政基盤を確立するために会員増強を図ることです。このため、加入割合六十パーセントを目標にして会員の総力をあげて努力しています。

先般の全法連総会において、全法連の横河会長が法人会とは「良き経営者たらんと願う者の集まり」と定義づけされたわけですが、この定義に沿つて事業活動をより活性化し、魅力ある「法人会」を目指していききたいと考えております。

第二には、法人会の社団化の推進です。広島国税局管内の法人会百五会のうち、社団化法人会はわずか二十五会にとどまっております。中法連としましては、社団化を推進

する前提として、まず一審一法人会の実現に向けて努力し、その実現後に社団化を図つていきたいと考えておりますので、御指導と御支援をよろしく願ひいたします。

局長 会員加入率六十パーセント達成に向けて、私どももできるだけだけの支援を行つてまいりたいと考えておりますし、また、一審一法人会の達成等についても同様に考えております。

私どもが法人会に寄せる期待は大変大きなものがあります。「法人会に入つてよかった」という会員が増えるよう名実ともに法人会の発展と充実をお願いいたします。このことが地域社会で指導的役割を果たしておられる会員の皆様を通じて納税道義の高揚につながるものと確信しております。

会長 法人会の事業活動を通じて、局長の言われた納税道義の高揚を図つていきたいと考えております。

司会 本日はどうもありがとうございました。

通常総会

新役員決る

十月二日(木)午後三時より、大田グランドホテルにおいて、来賓に石見大田税務署川増署長他多数の方々の御臨席を頂き、会員八十七名の出席のもとに、通常総会が開催され、現役員の他に次の方々が新しく役員になりました。

以下新しい役員の方々を紹介致します。

①波多野 親

大正6年10月13日生

②東和商事株

③大田市大田町吉永二二六六

④小物蒐集

①小川 良知

昭和22年8月31日生

②柳小川商店

③迦摩郡温泉津町温泉津口 六五

④読書



①森 山茂樹

昭和11年6月10日生

②南森山文弘堂商店

③迦摩郡仁摩町大字仁万町 一五二三一

④囲碁



①氏名

生年月日

②事業所名

③現住所

④趣味



法人会顧問・参与

法人会役員名

役職	氏名	住所	電話	委員会
顧問	石見大田	大田	0480	役員
顧問	東和商事	大田	0242	役員
顧問	大田大田町吉永	大田	0740	役員
顧問	小物蒐集	大田	2000	役員
顧問	波多野親	大田	0860	役員
顧問	東和商事	大田	2118	役員
顧問	大田大田町吉永	大田	0557	役員
顧問	小物蒐集	大田	2171	役員
顧問	波多野親	大田	1073	役員
顧問	東和商事	大田	2511	役員
顧問	大田大田町吉永	大田	0672	役員
顧問	小物蒐集	大田	1824	役員
顧問	波多野親	大田	2181	役員
顧問	東和商事	大田	3165	役員
顧問	大田大田町吉永	大田	7009	役員
顧問	小物蒐集	大田	5201	役員
顧問	波多野親	大田	2181	役員
顧問	東和商事	大田	2694	役員
顧問	大田大田町吉永	大田	0420	役員
顧問	小物蒐集	大田	2533	役員
顧問	波多野親	大田	4811	役員
顧問	東和商事	大田	1045	役員
顧問	大田大田町吉永	大田	0221	役員
顧問	小物蒐集	大田	8314	役員
顧問	波多野親	大田	6081	役員
顧問	東和商事	大田	0678	役員
顧問	大田大田町吉永	大田	0619	役員
顧問	小物蒐集	大田	8001	役員
顧問	波多野親	大田	2008	役員
顧問	東和商事	大田	0190	役員
顧問	大田大田町吉永	大田	8411	役員
顧問	小物蒐集	大田	2636	役員
顧問	波多野親	大田	0111	役員
顧問	東和商事	大田	2812	役員
顧問	大田大田町吉永	大田	2001	役員
顧問	小物蒐集	大田	2108	役員
顧問	波多野親	大田	2111	役員
顧問	東和商事	大田	7002	役員
顧問	大田大田町吉永	大田	0394	役員
顧問	小物蒐集	大田	0422	役員
顧問	波多野親	大田	2930	役員
顧問	東和商事	大田	3131	役員
顧問	大田大田町吉永	大田	0617	役員
顧問	小物蒐集	大田	0082	役員
顧問	波多野親	大田	2300	役員
顧問	東和商事	大田	1013	役員
顧問	大田大田町吉永	大田	0175	役員

新春経済講演会のお知らせ

恒例の新春経済講演会を来春正月十六日午後二時より日本銀行松江支店今田健一支店長をお迎えして実施致します。この機会に多数の方々にご聴講頂き企業経営の一助としてお役に立て下さい。

企業訪問

わが社のモットー

中村ブレイス株式会社



代表取締役 中村 俊郎

(資本金 一千万円
従業員 三十五名)

わが社の社是は、IBMと同じ「THINK」です。ものごとを常に考え、そしてものごとを正しく判断するという思想のもとに、少数ながら社長をはじめ若いスタッフ全員一丸となって、何事にもたえず前向きに努力しております。

昭和四十九年十二月二十日、京都市、アメリカでの研修を終え生まれ故郷大森町に帰った私ただ一人で、当地ではめずらしい身体障害者用の義肢装具の製作販売業者として産声をあげました。当時、弱冠二十一才、すべてゼロの状態です。

トしました。開業以来十二年、常に五年先、十年先、二十年先を見すえた大きな夢、大きな目標を持って今日に至っております。スタート時が余りにきびしい状態にあったので、将来の夢を頭に描きながら努力するしか道が無かったのです。

義肢装具業は身体障害者対象のごく限られた分野の業種であり福祉的な色あいの濃いものです。製作する商品も一人一人の患者に合わせた手作りりの商品が多いという特殊性のため、量産できるものではありません。島根県、ましてや大森



会社全容

つ広がり、五、六年後には広島島の医療施設からも声がかかって参りました。現在山陰両県と広島県の一部を義肢装具のシェアアとしています。

地方ということで従業員採用、育成の難しさはありましたが、都会で全く別な仕事を経験し、Uターンして来た青年達を毎年一人或いは二人採用するように努め、少しずつ養成し、一緒に苦労し、今日に至っております。

たくさんの方の御支援で少しずつ企業として成長させていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

昭和五十七年十月一日、中村ブレイス株式会社を設立しました。

その時点で、山陰両県と広島だけの商圏、又手作り作業だけの商品製作に限界を感じ、将来を見すえ、従来の義肢装具業のあり方を反省しながら、またその基本的なものを土台として広く全国的に販売出来る商品開発をめざして研究部門の充実に着手しました。いろいろな製品開発に努めて参りましたが、その中の最初の商品が別名「シリコソール」でした。この商品は従来の皮革、或いは硬いプラスチック材等を使っていた足底の装具をシリコンゴムで製造するというヒントを得て開発したものです。

これが全国に七百近くある同業者、病院、医師に好意的に迎えられる、一年、二年、三年とたつ間に北は北海道から南は沖縄、石垣島にまで広がりをみせ、出荷数累計十十万個を突破致しました。全国販売の特色は、

営業員を置かずに、病院、医者対象の専門誌に商品広告を載せる方法を取って



研究開発室

かえり、日々研鑽を重ね、努力しております。これまでの常識を打破するような、新しい発想、若々しい発想が、わが社の大きなエネルギーとなっております。

会社設立と時を同じく、東京事務所を設けました。運送便、特に宅急便の充実期と重なり、東京以北の注文の商品は東京事務所より出荷し、全国どこへでも、最長二日もあれば届けることが出来ました。その為、当初の一つの懸念だった大森町に本拠地を置くという地理的ハンディキャップは全く感じません。これから

ことです。広告媒体のみの販売で少しづつ信用を得て、足底装具につきましては全国一のシェアを占めるまでに成長することが出来ました。勿論、それに変わる商品も、第二弾、三弾、四弾と引続き開発、製造しております。

新しい商品が生まれると若いスタッフは自然に張り切り、心新たに、初心に



義肢・装具製作

も私共は、大田市大森町の山の中から、昔の銀のように、多くの方に広く御使用いただき、何らかの形で、治療、医療のお役にたちたいと念願しております。

全国販売にいくらか手応えを感じましたところから海外との交流もめざしたい

と思っております。国内は勿論、アメリカ特許、ヨーロッパ特許の出願も積極的に行ない、いくつかの商品は海外の顧客からも注文をいただくようになりました。



海外研修(西ドイツ)

二、三年前から、海外研修、海外展示も積極的に行なっております。本年度も、ヨーロッパ、アメリカ、中国等へ出向きました。

最近、義肢装具の分野から、多少一般の分野、スポーツの分野への進出も夢に描いております。ただ今、エアロビクスとかテニスとかがブームになり捻挫等で足を痛める方が多くなっております。わが社では、捻挫防止のサポーター等の開

発も出来、他分野への進出も今後の楽しみになっております。

わが社は若い社員が多いため、新鮮な気持ちで、これから全国の、世界中の多くの方に、自分達の考えたものを提供するのでという心意気で、日々研鑽して参りたいと思っております。

今後共、皆様方の絶大な御支援、御鞭撻を賜われますよう心からお願ひ申し上げます。

(完)

質問帖

【質問】当社では、当社の役員個人から、無利息で、借入れをしたいと考えています。この場合、役員会の承認が必要ですか。又税務上問題がありますか。

【回答】円高不況の影響で業績が、芳ばしくないとの語を良く耳にします。

このためか、資金繰りが苦しく、銀行からの借入れもむづかしいので、会社の役員個人から、借入れし、出来れば、利息は支払わないこととしたいが、税務上、問題はありますか。

又役員個人から、借入することにつき、取締役会の承認が必要でしょうか、との質問をうけることがあります。

そこで今回は、役員から借入れた場合と、貸付けた場合の、問題点について、述べて見たいと思います。

(一)役員からの借入

会社と役員の間は、委任の關係にあります。

取締役は、その職務を遂行する場合、会社の最大の利益を考へることが要求されます。通常の場合、取締役の、意志決定により、会社の業務が遂行されます。

然し、会社と、取締役との取引は、それぞれの利害が、衝突するおそれがあり会社に不利益を生ずる可能性があります。

このため、会社と取締役が取引を行う場合、会社の利益が犠牲になることがないよう、チェックするため、取締役会の承認が必要とされています。

役員からの無利息借入は会社と、取締役との取引のため、原則としては、取締役会の、承認が必要であります。無利息で借入する場合は、会社に不利益を与えないため、取締役会の承認は必要ありません。

利息を支払う場合は、低利でも必要であります。

次に税法上の問題ですが

会社が、無利息で借入しても税務上の問題は発生しません。

原則的には、借入れをすれば、利息は支払いすべきであります。無利息で、借入しますと、通常支払うべき利息を支払わなくても

良くなるわけでありませう、会社の方に経済的利益が発生します。

この利益には、当然課税されます。会社は利益に対して法人税が課税されます。無利息による経済的利益も当然に会社の利益の中に含まれていきますので、あらためて、会社側で、認定課税と云う問題は生じないわけでありませう。

然し、貸付けた側の取締役の方については、貸付けた資金の財源について、税務調査の折等に、厳しくチェックがなされます。

無用のトラブルを避けるため、貸付けた資金の財源を明らかにし、充分説明出来る様、証憑等の保存に心

掛けるべきでしょう。

(二)役員への貸付

会社が役員へ金銭を貸付ける場合、取締役会の承認が、必要です。

税務上でも、課税關係が発生します。

実際に支払いを受けた利息等の額が、通常支払いを受けべき利息の額よりも、低い場合には、その差額は経済的利益として、取締役に対する報酬とされます。又、経済的利益を含めた報酬の総額が、株主總會で、決定されている取締役に対する報酬の限度額を超えていけば、その超過部分が、賞与に認定される場合もあり注意が必要です。

この場合に通常取得すべき利率は次のとおりです。

○他から借入して貸付けた場合…その借入金の利率。

○その他の場合は、おおむね年10%とされています。

高災害等による場合、又は、少額(年間五〇〇〇円)の利息については、課税しないこととして取扱われています。(渡辺税理士)

忘れていませんか

源泉所得税の納付を

源泉徴収をして預かっている源泉所得税で納付がまだのものはありませんか。納期限を遅れて納付されますと、本税のほかに加算税や延滞税がかかることがありますのでご注意ください。なお、納期限は次のとおりです。

一、毎月納付される場合…源泉徴収をした月の翌月10日

二、納期特例を利用している場合

(一) 1月から6月の間に源泉徴収した所得税額…7月10日

(二) 7月から12月の間に源泉徴収した所得税額…翌年1月10日(納期限の特例の届出書を提出し、一定の要件を満たす場合には翌年1月20日)

ふる里のあまの窟

その三ノ一

石見銀山

(大田市 大森町)

失跡の星

日本海の沿岸を走る山陰本線、大田駅に下車して、山あいの県道を西南にバスで十二分ほど行くと大森町旧代官所前停留所につく、この大森町はかつて六百年の昔から銀山町として栄えたところである。

銀がはじめて発見されたのは、延慶(千三百年代)の昔と言われている。

銀をはじめて発見されたのは、延慶(千三百年代)の昔と言われている。

銀をとっていた山は旧代官所前の停留所から約四段上流の左手、仙之山(別名、銀峯山)と言う標高五三七の山で七つの谷をいだ

石と言っていました。

いて周囲は約十に及びます。

大永六年(一五二二)のある日、筑前(福岡県)、博多の豪商、神谷寿貞は出雲の鷺ノ浦銅山に、日本海を海路で銅の買付けにいく途中、馬路(島根、邇摩郡)の沖合で、この大森の空に不思議な銀の靈光を発見し、一心に十一面観音に祈り、靈夢によって仙之山に入り、銀(銀鉱石)を手にすることが出来たとされています。

その後、この大森から間道づたいに馬路の瀬ノ浦、湯里(島根、温泉津)の古柳の港に銀を搬出し、にぎわいました。当時、古柳の港は「古柳千軒」と呼ばれる程でした。

やがて天文二年(一五三三)ころになると大陸や博多から慶寿や宗丹と言った銀の吹立の技術をもった人が石見銀山をおとすれ、現地で精錬が行われるようになり、大森の橋畑(小字の地名)には唐人屋敷の跡も今に残っています。

時代は、まさに戦国の世、天文から永禄にかけて約三十年にわたる銀、争奪の戦のあけくれが続きます。大内、小笠原、尼子、毛利と言った中国路の武将は天下統一の野望をとげるためには、どうしてもこの銀山が必要だったのです。

時代は、まさに戦国の世、天文から永禄にかけて約三十年にわたる銀、争奪の戦のあけくれが続きます。大内、小笠原、尼子、毛利と言った中国路の武将は天下統一の野望をとげるためには、どうしてもこの銀山が必要だったのです。

文禄(一五九二)から慶長(一五九六)にかけて国内統一の実権をにぎった豊臣秀吉はおびただしい軍船をしつらえて朝鮮にまで軍兵を浸攻させましたが、その時の公用金は、この銀山の銀を使いました、世に言う「ゆずり葉銀」と呼ばれるものです、又、豪華絢爛たる桃山文化は、この山の銀があったればこそと言われています。

慶長五年(一六〇〇)になると関ヶ原の戦に勝った徳川家康はここを天領として代官所をおき百五十余ヶ村、四万八千石所領に、初代奉行として大久保十兵衛長安を

派遣し、宗岡佐渡、吉岡出雲、等の銀山衆(銀山付役人)をしたがえて銀山経営にあたります。今も当時の面影を残した表門長屋があります。又、吉岡出雲や宗岡佐渡の墓も残っています。

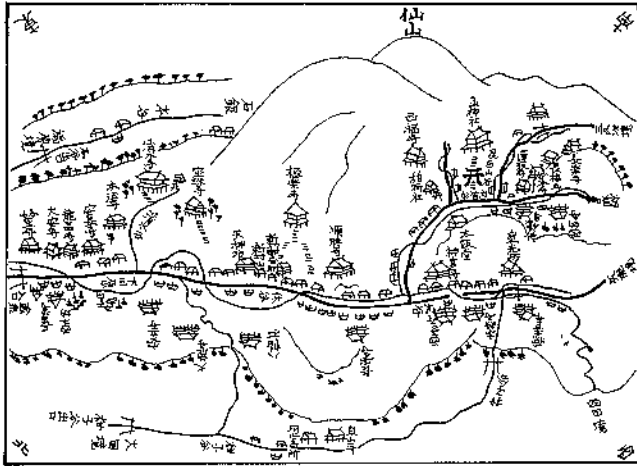
このころから銀山の採掘の方法が堅掘り(井戸掘り状)から坑道掘り(横穴掘り)に変えられ飛躍的に産銀をあげました。(この横穴掘りが「間歩」と呼ばれる坑道である。)

慶長八年(一五〇八)山師、安原伝兵衛(のちに安原備中)は釜屋間歩(国の指定史跡)を掘りあて数千貫の銀を徳川氏へ上納しました、その功により家康から伏見城で謁見をゆるされ「辻ヶ花染、丁字文胸服」を拝領し、自分の建てた菩提寺(大森町、清水谷)に寺宝として残されて居り、国の重要文化財に指定されています。

このように慶長から寛永(一五九六)一六二四)にかけて大盛りには仙之山に三百余の間歩があったと言います、それらのうち現存する数拾の間歩が指定史跡となっています。

然し江戸の中頃から産銀の量が

然し江戸の中頃から産銀の量が



石見銀山「七谷の図」

次第に少なくなってきましたが、時の幕府は二百六十五年にわたり代官所を置き大森は天領政治の中心地でした。その間に五十九代の奉行、代官が派遣され、この頃の石見銀山の賑いを「銀山旧記」(銀山古文書)には「就中、慶長の頃より寛永年中、大盛り、土稼の人数二十万人、一日米穀を費すこと千五百石余、車馬の往来晝夜を分たず、家は家の上に建て軒は軒の下に連り、されば銀山、近き津々浦

々、四方の大船を競い繋ぎ、五穀の類はいうに及ばず、和洋の珍饈、重宝に至るまで寄集ること、恐らくは今、日本の内、此、銀山に勝るところ有るまじくやと申伝えり。」とされるされています。

間歩の発掘は一日晝夜五交代制で、その一つを一番と言っていました(一日五番)、つちとたがねで一人前の下財(掘り)は縦が一尺二〇センチ、横巾が六〇センチ、奥行きが三〇センチ、掘り出しました。当時の人夫の賃金は日当で下財は銀二匁、手子(下財見習)が五分二厘、柄山負は一匁三分でした、江戸時代慶長年間には銀本位制でしたから銀は全くおかぬです。慶長十九年(一六一四)の銀一匁は今の二千五百円位になります。物価の安かった当時、石見銀山はまさに宝の山でした。

慶応二年(一八六六)江戸幕府、最後の代官、五十九代、鍋田三郎右衛門の時に第二長州の役が起り長州軍は大森に進撃し、鍋田代官は止むなく代官所をすてて二百余の手勢と共に出陣屋のあった広島県の上下町に遁走し天領政治が終りをつけました。現在、大森町銀山街道沿に当時、長州軍が進駐した時の屯営(その頃は長安寺というお寺で、現・豊栄神社)のあとには長州軍の兵士が献納した天水桶、石燈籠等が残されています。何れも苔むす石の台座に寄進した人の記名があります。

明治二年(一八六六)に版籍奉還がなされその年の八月には大森県が誕生しました。翌三年には浜田県に改められ、明治九年に現在の島根県になりました。

明治二十年(一八八〇)には大阪の豪商、藤田伝三郎が藤田組として銀山経営にあたりはじめは銀山、七谷の一つ、本谷の上層部を掘って鉱石を清水谷に運び出していました。今も駒沢間歩などの旧坑あとが残っています。

明治二十一年には本谷鉱区の銀の収銀試験、結果が良かったので明治二十七年(一八二七)、資本金二十万円(現在金額では約七億)を投じて新式の湿式収銀精錬所を清水谷で操業しましたが諸般の事情で失敗に終り二年で操業を停止し、建物は永久間歩(邇摩郡大園)に移転しました。最近、当時、残されていた石垣や煙道を、大草やツタなどの生い茂ったヤブ刈りをして当時の見事な石組が見られるようにし、梅林公園にするため梅の植樹がなされています。大森銀山、最後の間歩と言われる永久鉱山、その後大正十二年まで操業を続けましたが坑道が深くなり熱湯(C60)などが湧出したため休止の止むなきに至りました。

更に昭和十七年(一九四二)には岡山同和鉱業、柵原鉱山の支山としての再開発の夢がもたれ坑道などの整備をしましたが翌、昭和十八年八月の山陰をおそった大水害で坑道が悉く水没し坑口を閉じました。

一口に入は六百年の歴史と言いますが栄枯盛衰、人生の喜怒哀楽を秘めて幾度もの変遷を綴る銀山遺跡は、その多くの文化財を通じて人々に往時のあつい思いを今に伝えています。

(以下、次号では主要銀山遺跡について紹介いたします。)

非違事例

PART XI

六十一年七月以降の税務調査の結果、次のような非違がありました。

一、仕入の非違事例

機械の取得金額を仕入又は、材料費として費用計上していたもの。

二、たな卸の非違事例

イ、棚卸原始記録から棚卸表を作成する際に、棚卸商品の数量を圧縮する事により利益調整を行っていたもの。

ロ、建設業者が期末の未成工事支出金額を算出する際において、未成工事原価の一部を完成工事原価に付け替える事により利益調整を行っていたもの。

ハ、棚卸原始記録のずさんな管理により、店舗内における一つのフロアの商品をそっくり棚卸から漏していたもの。

三、経費の非違事例

イ、役員報酬額を、事業年度の途中(定時総会以外)において引き上げ、期首まで遡って引上げ差額の支給を行っていたもの。

ロ、役員だけで行った慰安旅行の費用を福利厚生費に計上していたもの。

ハ、翌期に行った機械の修繕について、当期中の日付により請求書を発行するよう相手先に依頼する事により、修繕費の未払計上を行っていたもの。

ニ、交際費の定額基準額がない法人で、交際費を会議費等の他科目で支出していたもの。
ホ、代表者及びその家族の衣類等の購入費用を交際費に計上していたもの。

四、貸倒損失の非違事例

貸倒れ計上の要件を備えていない不良債権を、数年度に渡り貸倒損失として損金経理していたもの。

五、源泉所得税の非違事例

イ、決算期末において、従業員に対し、金一封を支給しているながら、源泉徴収を行っていないもの。

ロ、化表者に対し、渡し切りの交際費を支給しているながら、源泉徴収を行っていないもの。

ハ、非常勤の役員に対し渡し切りの定額旅費を支給しているながら、源泉徴収を行っていないもの。

ニ、従業員を会社所有の車(燃料費会社負担)で通勤させていながら、通勤手当を非課税扱いとしていたもの。

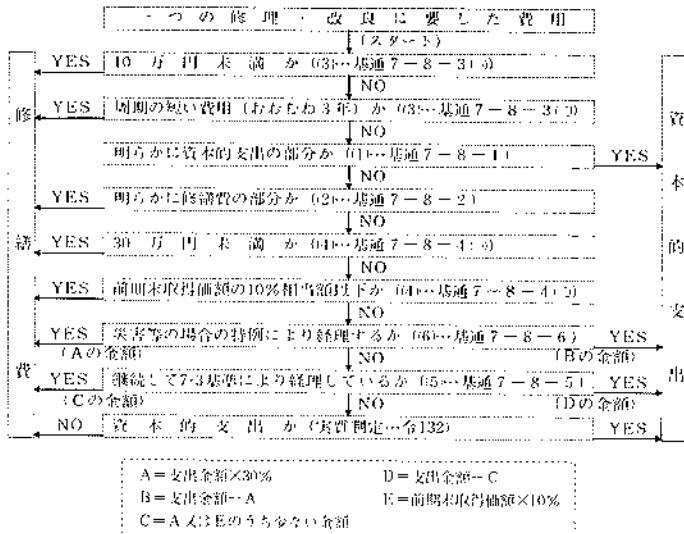
三三 税務コーナー

◎ 資本的支出と修繕費

法人が固定資産の修理、改良等のために支出した費用の額が、資本的支出として取得価額に加算されるものか修繕費として支出時の損金とされるものかについては、実務上の判断に迷うことが少なくありません。

そこで、資本的支出と修繕費の区分等の基準をフローチャートで示しましたので判定が適正かどうかのチェックに活用して下さい。

資本的支出と修繕費の区分等の基準(フローチャート)



天領の秘話 ⑧

石見銀風流譚

石村 禎久

詩歌を愛し、ユーモアを解するスマートな心境を「風流」と呼ぶ。今はこの「風流」という言葉はすっかり古典語となってしまった。現代の若者、新人類には風流の世界は縁の薄い境地だが、石見銀山をめぐる風物にはそのころのスマートな風流がいつばい。

昔も今も人間社会を支配しているのは、男と女のしがらみ。石見銀山という鉱山社会にもし出された、プラスとマイナスが描く風流嘶しを古典という霧の中からひっぱり出してみよう。

間歩の語源

大田地方の方言では、山の中の穴を「まぶ」といつている。江戸時代の初め、大久保長安により、銀山は

古い採掘法から新しい坑道掘りへの転換が行われた。この掘り口を「間歩」とよめるようになった。大田地方の方言が、鉱山用語のヒントになったのだろうか。

昭和四十八年ごろだったと思う、石見銀山を尋ねてこられた慶応大学教授、池田弥三郎さん(故人)に「間歩」の意味を聞かれたことがあった。

「語源の解説にはなりませんが」と前置きして、遊廊用語の間夫と鉱山の間歩について説明した。

つまり間夫とは、女のヒモという意味があるが、間夫の実際の語源は、遊廊に売られて来た女たちに、男と情を交わすテクニクを

教える役割をもっていた人を間夫といっていた。間夫に技巧を授けられた女たちが、沢山の客に穴を掘って？もらうほど金や銀が儲かった。鉱山の穴(間歩)も、掘れば掘るほど金や銀が出てくる、そこに共通の意味がある——と説明したところ、池田さんは膝を叩いて

「そいつは面白えーや」といわれたことを思い出す。その間歩も、文政六年(一八二三)の調べでは二百八十口あったが、実際は坑夫の確保が難かしかったり、鉱脈が衰えたりで、三十二口しか働いていなかった。この内訳は幕府直営が十八口、山師経営の自分山が十四口で、文政以前の江戸時代中期はそれほどではないが、文政ごろの幕末になると、こうして休む間歩が多く、次第に昔の面影を失っていくのである。

間歩は「真府」とも書き、「鋤口」ともいう。まぶという発音は、ひよっとした渡来語かもしれない。

銀山と遊廊
石見銀山を訪ねた人から「昔の遊廊はどこにあったのですか」とよく聞かれる。古図面

を見ると大森町の入口、願龍寺の近くに「茶屋の奥」という地名があり、ここが遊女屋のあったところかと推定されたりする。

大森町と隣り合わせの久利町畑中には「女郎屋」「風呂屋」という字名がある。久利や大家、大園などは江戸時代にはにぎやかな宿場町を形成していたので、小規模な遊女屋があったとして不思議ではない。

石見銀山を控えて、全国的に知られていた遊女町は温泉津・稲荷町である。延宝六年(一六七八)に発行された「色道大鏡」(藤本箕山著)には、全国で二十五ヶ所の遊廊が紹介されているが、温泉津・稲荷町は

「石見国の遊女は、温泉津の内、いなり町といえるあり、本式の遊廊なり」としてさされている。中国

地方ではほかに備後鞆・有磯町、安芸国広島・多々海、同宮島・新町、長門国下関稲荷町、播磨国室・小野町の五ヶ所があげてある。

温泉津稲荷町の繁盛ぶりについては資料が残っていないので詳細は分らないが、幕末の儒学者、頼山陽の叔父(おじ)頼杏平が、文政三年(一八二〇)四月、温泉津を訪れ、それらしい風情を伝えている。それによると、

「十四日夜、月を見ようと小浜の海岸に出た。港に越後から来た船が多数もやっていたが、その中で三味線を鳴らしてうたう女の声がある。月が冴えているだけに声があわれに聞こえる。

このあたりの遊び女ですか」と問うてみたら、都から流れて来た芸者だということ、こんな国の果てにまでさまよって、心にもない遊びの相手をしているのかと思うと、氣持が沈んで来た。」と書いている。

梅雨左衛門と銀山の三仁

石見銀山の歴代代官のうち十六代・竹田露左衛門、十九代・井戸平左衛門、四十九代・根本善左衛門の三人を「銀山の三仁」と呼んでいる。善政をしたことを替えてのことで、三人とも「左衛門」がつくので「三左衛門」ともいう。

江戸時代に遊女屋があったと思われる地域や鉾山、温泉の近くに、民間信仰の対象になっている「梅雨左衛門」(つゆざえもん)という神様が祀ってある。性病をなおして下さる神様だといいい、いづれもご神体は石で、女性の性器を思わせる形状をしている。梅雨左衛門があるのは

大森の降露坂のふもと、水上町福原、三瓶町池田、同町志学、山口町の親三瓶登山口、大代町大家、温泉津町松山など七ヶ所である。梅雨左衛門とは、男も女も「下」(しも)の方は、いつもはじめはじめしている。梅雨(つゆ)は、はじめはじめした

季節である。

しめつたところをなおして下さるので梅雨の名を神名とした。

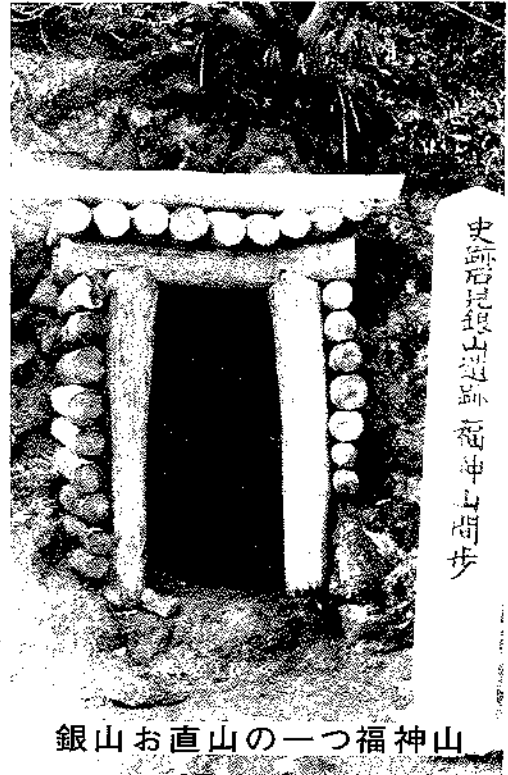
なぜ左衛門

をつけたかというところ、銀山の三仁はよい政治をしいて人々を救済した。そのように病気の方もなおして下さいという意味である。

男や女の、性器をかたどったものをおがむようになるのは江戸時代の、享保以降であり、梅雨左衛門という風流な神様が生まれたのは文政年間ごろと、推定される。

エツちな石像

今から十数年も前、大田三中の先生が、銀山のお直山「大久保間歩」に首の無い奇妙な石像を発見、大森郷土館に寄贈があつて陳列されることになった。



史跡石見銀山遺跡 福神山間歩

銀山お直山の一つ福神山

このわけの分らない石像に説明をつけたいが——と相談をうけた。説明を書くとなると大変エツちな内容のものになる。とまどつたが私は結局本当のことをしるすことにした。

銀山では、鉾脈が尽きて銀が取れなくなると、坑道の奥に、まじないとして奇妙な石像を置いておく、何年かして同じところを掘ると、不思議に新しい鉾脈が生まれていくという。

その石像とは男性のシンボルと女性のシンボルが交

合している形が刻んである。つまり生きとし生けるものは、すべて陰と陽の交わりがあつて新しい生命が生まれる。そのセクシーな石像を置いておくことによつて、新しい鉾脈の誕生を期待するわけであつて、江戸時代の鉾山社会の、ユーモラスなまじない(信仰)は愉快。

この石像はセックスを神体とした石の塔?であり「石(籠)せきがん」とでも名づけたらよいだろうか。

静岡県の大森、大田、大家などには「上市」「中市」「下市」という集落名がある。総合して六斎市といひ、毎月八、十四、十五、二十三、二十九、三十日と日をさだめ、それぞれ二日間ずつの「市」を開いた名残りだ。集落が出来た基になつた。大田の彼岸市も六斎市がルーツである。この日はお寺に参り、身を慎しむ日とされていたが、こうした信仰のあり方に批判的だつた当時の若者たちは、恋人とのび会いする日を、六斎市の日に決めて、しめしあわせて青春のひとときを過したというから面白い。

壁に、女性のシンボルが刻んであつて、そのすぐ下に石で造つた男性のシンボルが置いてある。これも同じ新しい鉾脈の誕生を祈るまじないであり、全国の鉾山にこうした素朴な信仰が、坑夫の間にあつたことをうかがわせる。

六斎市奇談

銀山周辺の大森、大田、大家などには「上市」「中市」「下市」という集落名がある。総合して六斎市といひ、毎月八、十四、十五、二十三、二十九、三十日と日をさだめ、それぞれ二日間ずつの「市」を開いた名残りだ。集落が出来た基になつた。大田の彼岸市も六斎市がルーツである。この日はお寺に参り、身を慎しむ日とされていたが、こうした信仰のあり方に批判的だつた当時の若者たちは、恋人とのび会いする日を、六斎市の日に決めて、しめしあわせて青春のひとときを過したというから面白い。

ストレッチ体操で 積極的な疲労回復を!!

ストレッチとは、伸ばすとか引くばるとかいう意味で、私たちのからだを支えている筋肉や腱を意識的に伸ばし、そのまましばらく伸ばしつづけるために工夫された体操を「ストレッチ体操」と呼んでいます。もともとこの体操は、「スポーツの前後に行う体操として開発されたものですが、最近では、リハビリテーションや健康の調整法としても活用されています。さっそくストレッチ体操に取りこんで下さい。始める前に、次の点に気をつけて下さい。

- 1、気持ちよい範囲にとどめ、決して無理をしないこと。
- 2、伸ばすときは息をはきながら、後は自然な呼吸を心がける。
- 3、はずみをつけないで、自分の体重や力でゆっくり伸ばす。
- 4、筋肉のリラックスと同時に、心のリラックスにも努める。
- 5、笑顔で15秒〜30秒

間伸ばしつづける。

※ストレッチ体操は気がついた時どこでもやって欲しいのですが、特にお風呂上がりを行うとより効果的です。

それでは、最近非常に増えて来ている肩こりと腰痛のためのストレッチ体操を紹介しましょう。

① 肩こりのためのストレッチ



※手の平を上に向け息をはきながらゆっくり頸の上に伸ばす。



※頭の後ろで肘をつかんで上体後部を引き上げる。



※両手を後頭部で組み、両肘を合わせるようにしながらゆっくり首すじを伸ばす。



※胸の高さで腕を図のように肘より肩に近い部分にかけ

手前に引っ張り伸ばす。

腰痛のためのストレッチ



※おお向けにねて脚をあさく組む。かけた脚の方向へ両膝を倒し腰部をひねる。



※伸ばした脚の膝を曲げないようにな体を前屈させ太腿部裏側を伸ばす。



※両腕を利用して上半身と下半身が逆ひねりになるように背すじを伸ばす。



※両膝の間に頭が入るようになり小さくまるまり前後にゆすり背筋を伸ばす。

疲労の回復方法として、静かにからだを休めることはたしかに大切ですが、時

には軽い運動を行う積極的な休養が、疲労の回復を早め、体調を整えていくことがあるのです。その一つの方法が、お風呂上がりのストレッチ体操です。

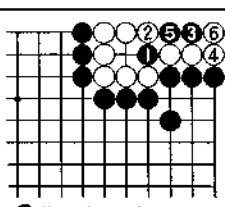
我々が大切な機械や道具を毎日でも手入れするようなら、我々の資本でもあるから、それ以上にいたわってやる必要があるのではないのでしょうか。

さあ、いつでも、どこでも、気が向いた時に、気軽にストレッチしましょう。

囲碁問題解答



解説 黒1とアテて3と曲るのがうまい手。白は4とオク一手。そこで黒5とハッて、7まで死となりませす。



⑦5のところ

編集後記

第十号より掲載している「ふるさとの散歩路」が、好評を得ているようです。表紙の写真も、これに呼応して選んでゆきたいと考えています。

特別寄稿をいただいている「天領秘話」も、第八話となり、石村先生には、会報に花を添えて頂いて、感謝申し上げます。

会報本来の内容と共に、楽しい読物風にしてゆきたく、広報部員一同、心を砕いています。

今回は特に、直木賞の、難波利三先生には、御繁忙中を、御対談賜りまして、厚く御礼申し上げます。

末筆となりましたが、編集に御協力いただきました方々に、感謝申し上げますと共に、今後共何分の御指導のほど、御願ひ申し上げます。次第であります。

(広報部 渡辺)

万全の役員退職金制度の確立に 「ツイングプラン」のご案内

このたび法人会では、従来別々にお取扱いしておりました”死亡退職金、弔慰金、見舞金の準備に最適な「経営者大型総合保障制度」と”退職金の積立てに有効な「経営者退職年金制度」”を組み合わせた「ツイングプラン」のお取扱いを開始いたしました。

”ツイング”とは”ツイン”(二つの)と”ウイング”(翼)を合成した言葉で、死亡退職金対策と生存退職金対策の両翼がそろってこそ企業としての飛躍があるとの考えから、名づけられたものです。

この「ツイングプラン」は、企業の役員退職金制度としては極めて合理的なもので、企業に真の意味での安定をお届けいたします。



〈お支払い事例〉

こんなとき保険金、給付金が
支払われます。

- 経営者大型総合保障制度…5,000万円コース
- 経営者退職年金制度…月額掛金5万円の場合

交通事故で死亡した。

- 経営者大型総合保障制度
 - 大同生命の死亡保険金……………5,100万円
 - AIUの死亡保険金……………5,000万円
 - 経営者退職年金制度
 - 遺族一時金……………362万円
- 合計 10,462万円

※経営者退職年金制度の遺族一時金は加入後5年経過の場合です。

階段から落ちて足を骨折し30日間入院、ギブスをはずし歩けるようになったので退院し7日間通院治療しました。

- 経営者大型総合保障制度
 - 大同生命の災害入院給付金……………30万円
 - AIUの入院保険金(休業保障)……………45万円
 - AIUの通院保険金(通院保障)……………52,500円
- 合計 802,500円

ガンで280日間入院し、この間手術をうけ、手術後30日間所定の看護婦より看護を受けた。

- 経営者大型総合保障制度
 - 大同生命の(癌病+成人病)入院給付金……………360万円
 - (長期疾病+長期成人病)入院給付金…180万円
 - (癌病+成人病)自宅療養給付金…60万円
 - 看護給付金……………30万円
 - 手術給付金……………50万円
- 合計 680万円

20年後に
退職のとき

(経営者退職年金制度)

退職一時金

2,641万円

一時金にかえ年金で受取る

月額30.5万円×10年間

(受取総額3,660万円)

《法人会》これまでに、お役立ていただいた保障金

保障金	昭和46年6月から昭和60年3月までにお役立ていただいた保障金		最近1年間(59/4~60/3)	
	件数	金額	件数	金額
死亡・高度障害、後遺障害保障金	15,775件	1,947億3,535万円	2,239件	335億0,254万円
病気による入院保障金	59,132件	101億8,304万円	9,907件	21億5,315万円
事故による入院保障金	16,512件	20億3,822万円	2,419件	3億6,245万円
病気による手術保障金	19,442件	17億8,898万円	3,344件	3億8,109万円
事故による手術保障金	2,323件	2億1,690万円	434件	4,529万円
事故による休業保障金	83,087件	119億5,118万円	12,791件	17億3,548万円
事故による通院保障金	2,742件	1億2,901万円	2,742件	1億2,901万円
事故による医療保障金	16,308件	9億3,555万円	2,736件	1億3,096万円
合計	215,321件	2,219億7,823万円	36,612件	384億3,997万円

お問い合わせ・資料請求は……商工会議所内 法人会事務局 ☎(08548) 2-0765

または、大同生命浜田営業所 ☎(08552) 2-5965まで

車の販売と 車検 点検 整備

日本石油(株)販売店

大東京火災海上保険(株)代理店

山内モーター有限公司

工場 通摩郡仁摩町大字仁万町上本町863番地 電話2011 有線3402
 仁万東給油所 通摩郡仁摩町大字仁万町八幡区886-2番地 電話2012 有線2989

書籍・文具・事務用品・化粧品

有限会社 花田書店

代表取締役 花田義隆

通摩郡温泉津町 TEL (08556) 5-2019

プロの手で心を込めて造る味

Ⓚ マルキ醤油 長寿みそ 石州もろみ

(有) 中木屋本店

島根県大田市久手町波根西350 TEL 08548(2)8509 (有線) 727-17

中国運輸局長指定工場

民間車検工場

有限会社 山中モーター

〒694 島根県大田市大田町
 工場 TEL 2-0473(代) FAX 2-8899
 自宅 TEL 2-1541 有線 256-15

指定サービス

島根日野自動車(株)
 山陰いすゞ自動車(株)
 日産プリンス山陰販売(株)
 山陰三菱ふそう自動車(株)
 島根日産自動車(株)
 石東スズキ販売(株)
 日産ディゼル山陰販売(株)
 島根県学校生協指定工場

有限会社

山陰総合企画

島根県大田市大田町大田イ282-5 ☎(08548)2-4650 有線285-21

冠婚葬祭部

白蓮社

大田市大田町大田イ282-5

企画宣伝部

- ・新聞、雑誌、出版物の企画・制作。
- ・商業印刷物の企画制作。
- ・PRと直接の総合企画。
- ・催し物の企画。
- ・司会。
- ・講演会等の企画と進行。
- ・写真撮影。
- ・旅行会の企画並びに観光企画。
- ・映画・ビデオ撮影と制作。
- ・テレビ・ラジオ・CM・CM制作。
- ・PR・PR・CM・CM制作。
- ・社歌の企画・制作。
- ・放送宣伝カー。

葬儀のお申込みは

☎ (08548) 2-4650
 夜間 5-8629
 有線 285-21

- 冠婚葬祭の企画演出と葬儀は白蓮社にご相談下さい。
- 花輪・生花・盛かご・各種灯籠。
- 白蓮社のショールームには冠婚葬祭の色々な品々が展示してございます。お気軽に是非一度ご来店下さい。

総合結婚式場

寿 仁万屋

亭主 石田憲 咲

島根県大田市大田町桜田 電話 (08548) 2-1050



大田邇摩法人会会報 第12号

昭和61年12月20日発行

発行所 大 田 邇 摩 法 人 会

編 集 広報委員会 委員長 渡 辺 常 弘

大田市大田町 大田商工会議所内

TEL (08548) 2 - 0765

印 刷 月 橋 印 刷

大田市烏井町 TEL 2 - 0540